



■その他

▽専決処分の承認（2議案）

地方税法の改正に伴い、議会を招集する時間的余裕がないため市長の専決で行った条例改正について、議会の承認を求めるもの。

▽田原市市税条例等の一部改正

固定資産税・都市計画税の負担調整の継続、軽自動車税のグリーン化特例税率の導入など

▽田原市国民健康保険税条例の一部改正

課税限度額の引き上げ（81万円から85万円）及び軽減判定額の引き上げ（5割軽減 24万5千円から26万円など）

討論

反対

（河邊正男議員）国の言いなりで保険税を引き上げるのではなく、医療が安心して受けられる社会保障として国・県・市の責任を果たし、保険税の軽減を図るべき。

賛成

（古川美栄議員）本件は、課税限度額の引き上げと、低所得者の保険税軽減を図るもの。市民の不利益を被らないよう専決処分されたもので、専決はやむを得ないと理解している。



I-A型



大I型

消防車の購入

2000万円以上の動産購入のため、議会の議決を求めるもの。

▽水槽付消防ポンプ自動車（I-A型）

契約金額 8078万4000円
（消防署渥美分署に配備）

▽大型化学消防ポンプ自動車（大I型）

契約金額 7797万6000円
（消防署渥美分署に配備）

▽災害対応特殊消防ポンプ自動車（CD-I型）

契約金額 3909万6000円
（消防署赤羽根分署に配備）

■請願

再び戦没者や戦没者遺族を出さないために安全保障関連法案に反対する意見書の提出を求める請願書

総務委員会では不採択となり、本会議においても賛成少数で否決され、意見書の提出には至りませんでした。

請願者 安間 慎・安間妙子
紹介議員 河邊正男・赤尾昌昭

討論

不採択

（仲谷政弘議員）近隣諸国の傲慢な動きと、テロの脅威にそなえ、集団的自衛権の行使を容認し、国民の命と平和を守るには法整備は必要と考える。現在、国会で審議中のため不採択としたい。

採択

（河邊正男議員）法案は憲法9条を破壊し、これまでの政府の憲法解釈を根底から覆すもので、競争につながる道である。法案には、憲法からいっても整合性はなく、憲法学者も憲法違反としている。

採択

（廣中清介議員）自分の親族にも戦死者がおり、戦争で悲しむ人を二度と出さなければならないと強く思っている。法案には、憲法学者さえも、揃って「違憲」との見解を示した。意見書を提出すべき。